

本当の安心のために わたしたちが今できること…

2次感染を防ぐ

保育園における集団感染のほとんどは、病原菌が**園児や保護者そして職員などから保育園の中に侵入**し、感染が広がっていく2次感染によるものです。

例えば、乳幼児の死亡率が非常に高い病原性大腸菌O157の場合、大人には保菌者が存在していますが、多くの場合発症せず、気付かないままです。しかし、これが乳幼児へ感染すると、命を危険にさらす恐ろしい病原菌に変わってしまいます。

菌の発生を防ぐことはもちろん、園外から持ち込まれる菌を徹底的に遮断することが重要なのです。

アソカ保育園の対策

病原菌の侵入を防ぐには、手洗いによる感染予防の徹底が大変効果的です。

そこで、洗浄と除菌が同時に行える**ポラリエット(洗浄除菌水生成装置コア・クリーン)**を導入致しました。

この機器を使用して子どもの登園時、トイレ後の手洗いをっていきます。

また、職員の手洗いや共有するおもちゃ・備品などの除菌なども行っていきます。

家庭とスクラムを組んで

子どもたちを守るためには、保護者の方々のご理解とご協力が欠かせません。お互いが意識を高め、衛生管理徹底の必要性を共有化することが大切なのです。

ご家庭でも衛生管理には十分気を付けていただき、また長時間在園される場合は、保護者の皆様にも子どもたちと一緒に手洗いをしていただきたいと思っております。

お手数ですが、大切な子どもたちのために、皆様のご協力をお願いいたします。

乳幼児期は様々な雑菌との共生の中から免疫力の高い、強い身体を育む大事な時期です。しかし、集団生活を預かるものの責任として、2次感染による犠牲者は絶対に出してはなりません。当園でも食中毒・感染症予防を行っておりますが、集団感染が発生する原因のほとんどは、施設外から「人」を媒介にして持ち込まれた病原菌が別の人間に感染してゆく「2次感染」です。保育園は集団の場であるため、2次感染を予防するための危機管理の意識づくりと環境づくりを行いました。

ポラリエットとは…



この度導入した衛生管理システム**ポラリエット(洗浄除菌水生成装置コア・クリーン)**は、O157が最初に発生した堺市の事例をベースに大阪大学微生物研究所が中心になって開発された産官学共同開発の除菌システムから更に改良を重ね、まだ免疫力の弱い幼児向けに開発された商品です。専用原液の電気分解によって発生する**次亜塩素酸とスーパーオキシドイオン**の働きにより**約10秒間の手洗いで100%の除菌効果**を発揮します。その他にも備品・設備やトイレ・洗面所のサニタリーの除菌など幅広い用途に使用できます。除菌水自体は**低濃度の微酸性**で、食品添加物として厚生労働省の許可を受けていますので、手指・皮膚にも安心して使用できます。

様々な用途に使用しています



園児・職員の手洗い



園児・職員のうがい



タオルを用いての手指の除菌



ケガの洗浄



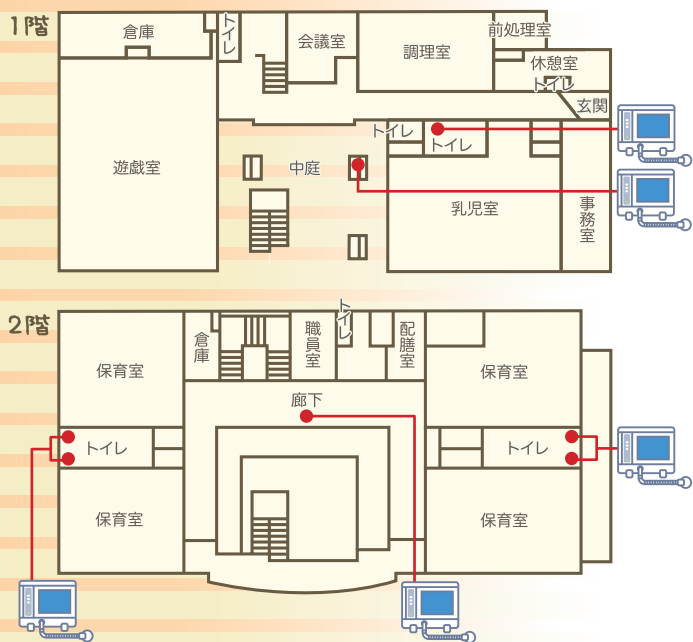
床・机・イス・ドアノブの除菌



おもちゃの除菌



ポラリエット設置場所



保護者のみなさまへお願い

毎日の登園時には必要ありませんが、行事などで長時間在園される場合は、下記方法にてご利用ください。

- ①手をセンサーにかざし、ピッピッという音がしたら、手をシャワーの前に持っていきます。
- ②約10秒間シャワー式で除菌水が出てきます。
- ③シャワーが止まるまで手を洗い、その後ペーパータオルまたは個別のタオルで手を拭きます。



社会福祉法人 アソカ園
アソカ保育園